

開催日時 開催場所	日時：2015年2月18日（水）16:05～16:18 場所：マツダ病院 外来棟5階 図書室
出席委員名	五明 幸彦、西原 昌幸、中原 章徳、大成 洋二郎、福入 隆史、川本 ひとみ、 矢野 礁風、山岡 明美、土田 耕司、谷口 晶子、矢吹 尚子、永谷 薫、服部 聖
議題及び審議 結果を含む主 な議論の概要	<p><b>【審議事項】</b></p> <p><b>審議事項①</b> 協和発酵キリン株式会社の依頼による喘息患者を対象としたKHK4563の第Ⅲ相臨床試験</p> <p>新たな安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>審議事項②</b> 第一三共株式会社の依頼によるDS-5565第Ⅲ相国際共同試験</p> <p>治験に関する変更（治験実施計画書別紙2）について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>審議事項③</b> アストラゼネカ株式会社の依頼による急性虚血性脳卒中又は一過性脳虚血発作患者を対象としたAZD6140（チカグレロル）の国際共同第Ⅲ相試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験に関する変更（治験実施計画書管理的項目の変更）について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>審議事項④</b> 旭化成ファーマ株式会社の依頼による原発性骨粗鬆症患者を対象としたAK156の第Ⅲ相臨床試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>審議事項⑤</b> 第一三共株式会社の依頼による虚血性脳血管障害患者を対象としたCS-747S（プラスグレル塩酸塩）の第Ⅲ相試験</p> <p>当該試験薬で発生した重篤な副作用についてこれまでに得られている安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p><b>報告事項①</b> 旭化成ファーマ株式会社の依頼による原発性骨粗鬆症患者を対象としたAK156の第Ⅲ相臨床試験</p> <p>治験終了について報告した。</p>
特記事項	大成委員：審議事項①欠席